

2024年1月18日

各位

会社名 株式会社VRAIN Solution
代表者名 代表取締役社長 南場 勇佑
(コード番号：135A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 コーポレート部部长 菊地 佳宏
(TEL 03-6280-4915)

2024年2月期の業績予想について

2024年2月期(2023年3月1日～2024年2月29日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2024年2月期 (予想)		2024年2月期 第3四半期累計期間 (実績)		2023年2月期 (実績)	
		対売上高 比率	対前期 増減率	対売上高 比率	対売上高 比率		
売上高		1,410	100.0	1,052	100.0	617	100.0
営業利益		497	35.3	384	36.5	64	10.4
経常利益		493	35.0	383	36.4	63	10.3
当期(四半期) 純利益		330	23.4	253	24.1	49	8.1
1株当たり当期 (四半期)純利益		33.32円		25.60円		5.04円	
1株当たり 配当金		0.00円		0.00円		0.00円	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 2023年12月8日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。2023年2月期の期首に株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。
3. 2023年2月期(実績)及び2024年2月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均株式数により算出しております。2024年2月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(210,000株)を含めた予定期中平均株式数により算出しております。

ご注意：

この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【2024年2月期業績予想の前提条件】

1. 当社の見直し

当社は、「モノづくりのあり方を変え、世界を変えていく」ことをミッションに掲げ、製造業界向けに、AI技術及びIoT技術等の最新技術を活用したサービスを提供しております。当社が、サービスを提供している日本の製造業界は、グローバル化や技術革新に伴うアジアの国々を代表とする新興国の工業化による「国際競争の激化」や少子高齢化に伴う労働人口の減少による「人手不足」等の構造的な課題に直面していると当社では捉えております。これらの課題に対処すべく製造業界においては生産性向上のためのAIやIoT等の新しい技術を活用したDXが強く求められていると判断しております。

当社が製造業界に提供するものは、生産性向上のソリューションとして、AIの技術を活用して自社開発する「AIシステム」及び顧客のDX推進のための「DXコンサルティング」の2つとなります。「AIシステム」は、顧客の製造ラインの製造環境及び解決したい課題に合わせて、AIシステムの提供だけでなく、撮像機器等の周辺のハードウェアと組み合わせて提供することで、顧客の製造ラインの自動化を実現しています。「DXコンサルティング」は、製造業及び製造工程における多くの知見と実績やノウハウを活用して、顧客の生産設備からのデータの取得に使用するデバイスの選定から、データ取得、分析、結果を踏まえた実際の運用までを支援しています。そして、製造現場のDXプロジェクト全体を通じて、より質の高いサービスを提供することに努めております。現在製造業に向けて、両ソリューションを提供している企業は国内において多くなく、当社の優位性に繋がるものと考えております。また、同一企業へ両ソリューションの導入を推進することにより、企業のDXを加速させ、一企業における収益の最大化を図っております。

当社が対面する製造業界は、内閣府が公表する「国民経済計算（GDP統計）」によれば、我が国の国内総生産（名目）の19.2%を占める107兆円という巨大な市場規模です（内閣府「2022年度（令和4年度）国民経済計算年次推計」、2023年12月）。一方で、少子高齢化の影響によって労働人口が減少しているため、生産性向上・コスト効率化に繋がるデジタル投資は高い水準が見込まれています（工場デジタル化市場規模2023年度（予測）：1兆7,620億円→2027年度（予測）：1兆9,820億円。出典：㈱矢野経済研究所「工場デジタル化市場に関する調査（2023年）」（2023年4月26日発表）より引用）。そのような環境のもと、当社はAIシステム及びDXコンサルティングの提供による顧客の自動化支援を担う優秀な人材を確保すると共に、提供可能な自社開発システムの開発体制の基盤を拡充し、事業規模の拡大に向けた取組みを強化しております。

以上を踏まえ、2024年2月期の業績予想におきましては、売上高1,410百万円（前期比128.5%増）、営業利益497百万円（前期比674.2%増）、経常利益493百万円（前期比678.8%増）、当期純利益は330百万円（前期比560.9%増）を見込んでおります。

2. 業績予想の前提条件

2024年2月期の業績予想数は、2023年3月から同11月まで（第3四半期累計期間）の実績数値に、2023年12月から2024年2月まで（第4四半期）の予測値を加算して作成したものであり、2023年12月27日の取締役会にて決議を行っております。

なお、当社は、製造業DX事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1) 売上高

当社は、製造現場へのAIシステムの導入及び顧客の業務自動化に繋がる提案を実施するDXコンサルティングを行っており、それぞれの導入予定案件を軸に売上計画を策定しております。業績予想につきましては、第3四半期の実績数値に第4四半期に納品を完了する案件を見込み、月次ベースでAIシステムとDXコンサルティングの売上高を積み上げております。その結果、売上高はAIシステムが1,101百万円、DXコンサルティングが309百万円、合計1,410百万円

ご注意：

この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(前期比 128.5%増)を見込んでおります。

なお、業績予想に対する第3四半期累計期間の進捗率は、予測比 74.6% (1,052 百万円) となっております。

(2) 売上原価、売上総利益

当社における売上原価は、主に材料費、労務費及び外注費であり、原価要素別に分類して計画を策定しております。業績予想につきましては、第3四半期累計期間の実績数値に、第4四半期に納品を完了する案件を見込み、月次ベースで材料費、労務費、外注費を積み上げております。その結果、売上原価が275百万円、売上総利益が1,135百万円の計上を見込んでおります。

なお、業績予想に対する第3四半期累計期間の進捗率は、売上原価が予測比 80.1% (220 百万円)、売上総利益が予測比 73.3% (831 百万円) となっております。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

当社における販売費及び一般管理費は、主に人員計画と費用計画を基に費目別に算定し計画を策定しております。業績予想につきましては、事業規模の拡大に伴う人員増により販売費及び一般管理費が増加するものの売上高の増加を見込み、販売費及び一般管理費が637百万円、営業利益が497百万円(前期比674.2%増)の計上を見込んでおります。

なお、業績予想に対する第3四半期累計期間の進捗率は、販売費及び一般管理費が予測比 70.3% (447 百万円)、営業利益が予測比 77.1% (384 百万円) となっております。

主な費用の前提は、以下のとおりです。

- ・人件費

A I システム等の営業活動に投下する人員強化に加えて、コーポレート部門におけるガバナンス強化のための採用増を見込んでおります。

- ・顧問料

製造業の顧客に対する効果的な営業活動を行うことを目的として、製造業での経験が豊富な人材に支援を依頼する支出を見込んでおります。

- ・採用費

人員計画に基づく当期採用人員数を基に、想定年収に採用エージェント手数料比率を掛け合わせることで算定しております。

- ・研究開発費

人員計画に基づき開発リソースを算出し、新製品の開発及び自社商品の機能追加のための費用を計上しております。

- ・その他の経費

費目別に、主に人員数に比例する費目及び定額で発生する費目に分類し、それぞれについて過去のトレンドから比率・金額を算定しております。

(4) 営業外収益・費用、経常利益

2024年2月期の営業外収益は契約解除に伴う返戻金の収益であり、営業外費用は主に支払利息と上場に伴う株式交付費等の費用の計上を見込んでおります。

業績予想につきましては、営業外収益5百万円、営業外費用9百万円の計上が見込まれ、上記業績予想の営業利益から当該収益及び費用を差し引いた経常利益493百万円(前期比678.8%増)の計上を見込んでおります。

なお、業績予想に対する第3四半期累計期間の進捗率は、経常利益が予測比 77.7% (383 百万円) となっております。

ご注意：

この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(5) 特別利益・損失、当期純利益

2024年2月期の当社における特別利益・損失は、計画及び業績予想共に見込んでおりません。当期純利益の業績予想につきましては、330百万円（前期比560.9%増）を見込んでおり、業績予想に対する第3四半期累計期間の進捗率は、予測比76.8%（253百万円）となっております。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上

ご注意：

この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。